

令和3年度静岡県青年農業者海外派遣事業研修生第二次募集要領

1 目的

公益社団法人国際農業者交流協会（以下、「交流協会」という。）が実施する農業研修生海外派遣事業を利用して、本県農業青年等を海外農業先進諸国へ派遣し、農場実習と学課研修を通じて国際的視野と経営能力を養い、将来の本県農業の中核となる青年の育成を図るとともに、国際交流の増進に寄与する。

2 事業概要

別紙「令和3年度農業研修生海外派遣事業の概要（第二次）」のとおり。

なお、本要領で対象となる研修コースはアメリカのみとする。

3 応募者の資格

- (1) 日本国籍を持つ独身男女で、心身共に健全であること。
なお、現在治療中の怪我や病気(精神疾患を含む)がある者は、医師の診断書を提出し、それを以って判断する。
- (2) 明確な研修目的を持っていること。
- (3) 外国語を学ぶ強い意欲を持っていること。
- (4) 海外農業研修で専攻する業種について、十分な農業経験があること。又は、渡航までに十分な農業経験を積むことができること(概ね2ヶ月以上)。
- (5) 事前講習までに普通自動車運転免許を取得していること。AT限定の者は渡航までに限定を解除しておくこと。
また、トラクター等の農業機械類を使用する可能性があるため、渡航までに大型特殊免許(農耕車限定も可)を取得しておくことが望ましい。
- (6) 犯罪歴がないこと。
- (7) 将来、静岡県内で地域農業の指導者となることが期待されること。

4 申込手続

(1) 交流協会ホームページでプレエントリー

交流協会ホームページ(<https://www.jaec.org/>)にて、プレエントリー(仮申込)を行う。

プレエントリーを行うと、交流協会からメールで申込書類(PDF)が送られてくる。

*パソコン用のメールアドレスが無い場合、プレエントリー入力情報により、交流協会から本人へ申込書類が郵送される。

*ホームページに繋がらない場合、直接交流協会へ電話する(TEL03-5703-0252)。電話上で必要な情報を伝えることにより、交流協会から本人へ申込書類が郵送される。

(2) 申込先(申込受付機関)及び期限

応募者は令和3年11月22日(月)までに、交流協会から送られてきた申込書類に必要な事項を記入し、静岡県内の各農林事務所、農林大学校又は農林環境専門職大学及び同大学短期大学部に申込書類を提出する。

(3) 申込書類

- ① 令和3年度海外農業研修申込書【様式1】
- ② 健康診断書【様式2】

※プレエントリー後、交流協会より送付される書類を使用してください。

(4) 申込受付機関の推薦

各申込受付機関は、応募者について派遣することが適当と認められるときは、4の(3)に掲げる書類に推薦書【様式3】を添えて、令和3年12月2日(木)までに静岡県経済産業部農業局農業戦略課に提出する。

5 選考

(1) 県選考

県は静岡県国際農友会の協力を得て選考会を開催し、合格者を交流協会へ推薦する。

ア 推薦区分

| 区分 | 定員等 | 中央選考での筆記試験の免除* | 研修費の県費負担 |
|---------|-----|----------------|----------------------------------|
| 静岡県知事推薦 | 若干名 | あり | 県選考の上位1名については、研修費のうち25万円を県が負担する。 |

*推薦された者は、交流協会による選考での筆記試験（英語、農業一般、作文）が免除される。

イ 選考会

期 日：令和3年12月中旬頃予定
場 所：県庁内会議室（予定）

ウ 選考方法

筆記試験：作文（テーマを当日指定）
面接審査

エ 選考判定

申込書、推薦書、健康診断書、筆記試験及び面接審査結果を総合して合否及び推薦を決定する。

オ 選考結果の通知

本人及び申込受付機関に通知する。

カ 選考に係る経費：無料

(2) 中央選考

県選考で推薦された者は、交流協会が行う中央選考を受験する。

ア 選考方法：書類審査及びオンライン（Web会議アプリZoom）による面談。面接の際に初歩的な英会話力と基礎体力の確認を行う。

イ 実施時期：令和4年1月20日(木)

※合格発表は令和4年1月21日(金)

ウ 選考費：5,000円（支払先：公益社団法人国際農業者交流協会）

6 帰国後の活動

海外派遣農業研修生は、帰国後、原則として静岡県国際農友会に加入し、同会が実施する諸活動に参加するものとする。

【静岡県国際農友会】

青年農業者海外派遣事業（派米農業実習生制度 [昭和27年～]、派米農業研修生制度 [昭和41年～] 等）により、アメリカ、ヨーロッパ等で農業を学んだ者で、昭和32年9月に組織化され現在会員数は157名。海外の農業知識の普及をはじめ、青年農業者海外派遣事業への協力、訪日農業研修生の受入れなど、地域農業の振興と国際親善に寄与している。

7 備考

県選考を経ないで直接中央選考に応募する一般応募の制度については、ガイドブック（Web上からダウンロード可能）を参照するか、直接、交流協会（TEL 03-5703-0252）へ問い合わせること。

8 問合せ先及び申込先

| 問合せ先等 | 電話番号 | 所在地 |
|--------------------------------------|--------------|----------------|
| （総合的な問合せ） 静岡県経済産業部農業局農業戦略課 | 054-221-2633 | 静岡市葵区追手町9-6 |
| （問合せ及び申込） 賀茂農林事務所（企画経営課） | 0558-24-2076 | 下田市中531-1 |
| 東部農林事務所（生産振興課） | 055-920-2158 | 沼津市高島本町1-3 |
| 富士農林事務所（生産振興課） | 0545-65-2194 | 富士市本市場441-1 |
| 中部農林事務所（生産振興課） | 054-286-9023 | 静岡市駿河区有明町2-20 |
| 志太榛原農林事務所（生産振興課） | 054-644-9214 | 藤枝市瀬戸新屋362-1 |
| 中遠農林事務所（生産振興課） | 0538-37-2269 | 磐田市見付3599-4 |
| 西部農林事務所（生産振興課） | 053-458-7212 | 浜松市中区中央1丁目12-1 |
| 静岡県立農林大学校（学生課） | 0538-36-1561 | 磐田市富丘678-1 |
| 静岡県立農林環境専門職大学 ・同大学短期大学部（学生課） | 0538-31-7905 | 磐田市富丘678-1 |

(別紙)

令和3年度農業研修生海外派遣事業の概要(第二次)

| | | |
|--------------|--|---|
| 研修コース | アメリカ | |
| 募集人数 | 若干名 | |
| 研修期間 | 約18ヶ月間 (令和4年6月下旬～令和5年12月中旬) ※研修期間は現地の事情等により変更となることがある。 | |
| 専攻業種 | 酪農、肉牛(繁殖、肥育)、養豚、養鶏、 野菜(種苗、有機栽培を含む)、造園、 花き(葉物、枝物、鉢花、花壇苗、観葉植物を含む)、 果樹(落葉果樹、コーヒー、柑橘) その他現地の状況により研修可能な業種 | |
| 応募資格 | 共通 | ① 日本国籍を持つ独身男女で、心身共に健全である方。なお、現在治療中の怪我や病気(精神疾患を含む)がある方は、医師の診断書を提出し、それを以って判断する。 ② 明確な研修目的を持っている方。 ③ 外国語を学ぶ強い意欲を持っている方。 ④ 海外農業研修で専攻する業種について、十分な農業経験がある方。又は、渡航までに十分な農業経験を積むことができる方(概ね2ヶ月以上)。 ⑤ 事前講習までに普通自動車運転免許を取得している方。AT限定の者は渡航までに限定を解除しておくこと。また、トラクター等の農業機械類を使用する可能性があるため、渡航までに大型特殊免許(農耕車限定も可)を取得しておくことが望ましい。 ⑥ 犯罪歴がない方。 ⑦ 将来、静岡県内で地域農業の指導者となることが期待される方。 |
| | 年齢 | 生年月日が、1992年4月2日から2003年4月1日までの方。 |
| | 学歴 | 高等学校卒業、または同等以上の学力を有し、農業の基礎知識や経験がある方。 |
| | 備考 | 資格条件は相手国の事情により変更される可能性がある。条件に合わない方については、個別に確認を行う。 |
| 応募方法 受付期間 | ① 応募者は、国際農業者交流協会(以下、交流協会)のホームページ(http://www.jaec.org/)にてプレエントリーし、交流協会からメールまたは郵送で送られてきた応募書類に必要事項を記入し、令和3年11月22日(月)までに、申込受付機関(県農林事務所、県立農林環境専門職大学等)に提出する。 ② 申込受付機関は、応募者について派遣することが適当と認められるときは、推薦書を添えて、令和3年12月2日(木)までに県農業戦略課に提出する。 | |
| 申込書類 | ① 申込書(様式1) ② 健康診断書(様式2) ※プレエントリー後、交流協会より送付される書類を使用してください。 | |
| 県選考試験 | 選考時期: 令和3年12月中旬頃予定 選考会場: 県庁内会議室にて実施(応募者に別途連絡) 選考方法: 筆記試験(作文)、面接審査 選考費: 無料 | |
| 中央選考 | (静岡県選考試験を受験し推薦を受けた場合) 選考日: 令和4年1月20日(木) ※合格発表は令和4年1月21日(金) 選考方法: 書類審査、オンライン面談(英会話含む) 選考費: 5,000円 | |

| | | | |
|-------|------------------|---|--|
| 講習 | オンラインセミナー | 時期：令和4年6月24日までに実施予定（4日間） 内容：プログラムの理解、渡航・現地研修農業配属の手続き等、現地及び研修事情等についての説明 | |
| | 事前講習 | （東日本）時期：令和3年4月6月24日までに実施予定（7日間） 会場：茨城県内を予定 （西日本）時期：令和3年4月6月24日までに実施予定（7日間） 会場：大分県内を予定 | |
| | 出発時講習 | 令和4年6月24日までに実施予定（3日間） 会場：東京都内を予定 | |
| 渡航予定日 | | 令和4年6月24日 | |
| 実施団体 | | 公益社団法人 国際農業者交流協会 | |
| 受入機関 | | ビッグ・ベンド・コミュニティ大学財団 | |
| 経費 | 研修参加申込金 | 300,000円 | |
| | 研修費 | 980,000円 ・ 静岡県知事推薦者上位2名は、研修費のうち250,000円を県が負担。 ・ 内訳：国内講習参加費、渡航前経費（査証等）、渡航経費（往路航空賃等）、帰国時研修経費、帰国者活動費、団体保険料、事務管理費 ※海外旅行保険料（約200,000円）等は含まない。 | |
| | 保険 | 海外旅行保険加入【必須】 | |
| 研修計画 | 基礎学習（約2ヶ月） | 令和4年6月下旬 ～ 令和4年8月下旬 | ビッグ・ベンド・コミュニティ大学（ワシントン州）における英語、スペイン語の語学研修、米国社会・農業概要の学習及び視察研修等（大学の寮に滞在） |
| | 農場実習（約13ヶ月） | 令和4年8月下旬 ～ 令和5年10月上旬 | 専攻業種に応じ、アメリカ合衆国内の農場における実習 |
| | 専門学習（約2ヶ月） | 令和5年10月上旬 ～ 令和5年11月下旬 | 農業経営、農産物市場・流通等の学習、視察研修（大学周辺の一般家庭にホームステイ） 農学部を有する州立大学で実施予定 |
| | 最終研修旅行・修了式（約2週間） | 令和5年11月下旬 ～ 令和5年12月中旬 | 研修生各自の自由計画による研修旅行及び修了式 |

注1 本表は一般応募については記載していない。

注2 交流協会のホームページに繋がらない場合、直接、国際農業者交流協会へ連絡してプレエントリーすること（電話番号：03-5703-0252）。

注3 推薦書については農業戦略課（電話番号：054-221-3611）、または最寄りの県農林事務所、県立農林大学校、県立農林環境専門職大学及び同大学短期大学部まで問い合わせること。

注4 経費については、国が実施する農業次世代人材投資事業（旧 青年就農給付金事業）等を活用できる場合がある（詳しくは最寄りの農林事務所に問い合わせること）。

注5 合格発表後の講習については、現在、国際農業者交流協会ですケジュールを検討中。